

外国語科(英語)

英語の内容はどう変わったか。

内容については、その構成は変わっていないが、領域ごとに示す言語活動の指導事項を次のとおりそれぞれ1項目ずつ追加または再編成し、各5項目としている。

「聞くこと」

「まとまりのある英語を聞いて、概要や要点を適切に聞き取るること」を追加した。

「話すこと」

「与えられたテーマについて簡単なスピーチをすること」を追加した。

「読むこと」

「話の内容や書き手の意見などに対して感想を述べたり賛否やその理由を示したりなどすることができるよう、書かれた内容や考え方などをとらえること」を追加した。

「書くこと」

これまでの(ウ)と(エ)を再編成し、次の3項目とした。
(イ) 語と語のつながりなどに注意して正しく文を書くこと。
(エ) 身近な場面における出来事や体験したことなどについて、自分の考えや気持ちなどを書くこと。
(オ) 自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように、文と文のつながりなどに注意して文章を書くこと。

★ ポイント

- 入学当初から4領域の基礎的な言語活動をバランスよく計画的・系統的に行う。
→ 3年間を通して、生徒の習熟に応じて必要な内容を繰り返し指導し、学習の深まりを目指す。



授業時数を各学年105 時間から140 時間に増加させたことで、言語活動の充実を通じて言語材料の定着を図るとともに、コミュニケーション能力の一層の育成を目指している。